

## 2-2：プラスト作業用送気マスク

造船の中でも最たる3K作業に対して如何に快適な環境を提供する事が出来るかをテーマとしてチャレンジしてきました。

その結果として、メーカーとしては、韓国内の造船重工業市場から90%以上の支持を戴ける製品に成長できた製品だと思えます。

是非、この機会にご理解いただければ幸いです。

現在、日本国内の造船所や関連事業所などで拡大方向であります。作業効率・安全性の向上や、品質確認の向上などの多彩な効果が期待できるアイテムです。

大きな効果としては、作業時間の中で大きな問題である、アイドル時間の減少では、見逃せない効果が出ています。

特に夏場での熱中症対策でも、大きな効果を発揮するアイテムの一つとなっています。

安全面でも、移動中の容易な視界確保なども見逃せません。

### Patented Wind-able Clear Film Mechanism

## KD-510

## Air Respirators

新しいフィルムでの使用開始時は、右の写真と同様の状態で、プラスト作業が開始できます。金網やパラフィンを重ねた状況と確認して下さい。

大きく、異なることがお分かりになるかと思えます。

これは、何につながるか？

- ※ 使用開始前は、右の参考写真のように顔がハッキリわかる状態です。また、跳ね返ったプラスト材で強化フィルムの表面に傷がつき視認性が悪くなったら、数秒のハンドル操作で、新しいフィルムへと交換できます。

KD-510送気マスクの種類として、プラスト、塗装用グラインダー用、の3種類があります。

#### 既存の送気マスク（簡易エアラインマスク）との比較

- ガラスを使用していないので、破損事故予防
- 軽量化（メーカー比15%減）により疲労感の減少
- 広い視界と優れた透過性の確保を通じて不良率ダウン
- フィルム交換時間のアイドル時間減少による、主作業時間の拡大
- 移動における足元視界の確保でつまずき等の防止
- マフラー装着で騒音減少による騒音疾病の予防
  - \*（頭痛、難聴等の耳の病気など）
- エアフィルター装着できれいな空気供給

参考：フィルムの使用回数（1ロール3.25m）：  
12回（グラインダー用、プラスト用）  
20回（塗装用）

\*視界の判断に個人差がありますので実績での平均値での表現となります。



## ■ 現有品との比較

クリアな視界を数秒で確保



ヘルメット一体式と軽量材質で軽い

クリアな視界は保護ガラスの交換が必要  
\*時間を要する



布に表面処理が必要のため重い



■一部ですが、以上のような事例で作業効率や後戻り作業の減少、作業者への負担軽減などの効果が認められます。ヘルメット一体式と軽量材質で軽い点及び、視界の確保が容易という点を比較していただければよいと思います。

KD-510ショットプラス用の送気マスクは、従来の製品に比べ視界が非常に良い為、安全であるということだけでなく、作業者に対しても疲労軽減と効率的な作業、視認性が良い為、品質の確保が容易であり、後戻り作業減少などの多彩な効果をもたらします。これは、企業には**コスト削減、生産性と品質の向上**を期待することができる筈へつながり、大きく生産性の向上に寄与できるアイテムであると言えます。

区分	KD-510	既存の製品
重量	1.45 Kg	2.9 Kg
騒音測定	72dB	115~125dB
頭部保護	ヘルメット一体式	なし(別途必要)
装着時間	10秒(1ロール)	15分(ガラス7枚)
耐久性	約4ヶ月程度	約4ヶ月程度
安全承認	安全認証製品	非検証

